

# 広報あらお

★荒尾市強調月間★

4月は「交通安全の月」

## main contents

## おもな内容

- 3 市長室から
- 4 Town Topics まちの話題
- 8 宮城県東松島市の今一
- 10 すくすく子育て
- 12 のびのび健康
- 16 荒尾市民病院からのおしらせ
- 17 新荒尾消防署業務開始！
- 18 市政情報
- 20 暮らしの情報
- 27 試験・募集・イベント
- 30 図書館情報
- 31 荒尾総合文化センター情報
- 32 相談の窓口など
- 35 あらおカレンダー
- 36 ひとのちから CLOSE UP



広報あらおは、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。

無我夢中人！ このコーナーでは市内で活動しているサークルやクラブを紹介します。

### 府本ソフトボールクラブ



▲第7回春季全日本小学生ソフトボール大会に出場。

創部8年目の市内小学生男女13人からなる荒尾市で唯一の小学生ソフトボールチームです。「自ら考え、プレーする力」を育てるため、毎週末、府本小学校グラウンドで練習に励んでいます。

## 題字を書きました



第一小学校3年  
藤本 爽楽さん

大好きな習字は幼稚園の頃から習っています。得意な科目は体育・図工・生活です。習いごとをたくさんしているので、将来の夢が5つあります。習字かピアノの先生、サッカーか野球選手、警察官のどれかの仕事をしてみたいです。

声の広報 [文字による情報入手が困難な障がい者のための音声録音版広報紙]  
福祉課係 ☎ 63-1406

荒尾市ホームページ  
<http://www.city.arao.lg.jp/>

携帯電話専用サイト (通信費は閲覧者負担)  
<http://www.city.arao.lg.jp/defaultM.aspx>



## 市長室から

平成26年4月

桜色のじゅうたんが明るい未来を示す道標のように真つすぐに伸び、新たな門出に立つ若人の進むべき道を指し示しているようです。

国のデフレ脱却と経済再生への取り組みで景気は緩やかに回復しておりますが、未だ地方での実感が乏しいのが現状です。こうした中、平成26年度予算では、本市の現状と将来を見据え、さまざまな課題に取り組みながらも「子育て環境の向上」「高齢者の健康づくり」「地域資源による活性化」の3点に重点配分を行い、施策の推進に努めて参ります。

本市が誇る「地域資源」の中に、中国の国父である孫文と孫文を物心両面から支援した本市の偉人宮崎滔天との友情の歴史があります。ことし2月中旬、私宛に中国在福岡総領事館より『友情の梅』が初めて花を

つけました」とのお便りが写真と共に参りました。「友情の梅」とは、1913年の孫文の来荒時に、滔天やその関係者らと現在の宮崎兄弟生家奥の梅の前で記念撮影を行ったことが名前の由来です。その梅を辛亥革命命百周年にあわせ接ぎ木し、平成24年2月に同領事館に贈ったもので、小さな梅が友情の歴史を礎とし荒尾と中国を結びつけ、少しずつ結実しているのを実感しております。また、ことし1月23日から先月末まで中国上海市において、荒尾市・熊本県・上海市関係機関の共催で「孫文と日本人宮崎滔天―学術交流活動および史料展」が開催され大勢の人が来場されました。

その史料展の開幕式典前の上海市対外人民友好協会訪問時には周亜軍副会長から「日中間は困難な時期だが、このような時こそ地方政府・民間レベルでの交流が大切。史料展を通じて友好交流を深めることが私たちの大きな目的である」との言葉を頂き、史料展の開催が将来につながる大きな一歩になったと確信しました。

「四海同胞（世界中の人々は皆兄弟姉妹のように親しいものである）」という滔天がよく用いた言葉を借り、開幕式後に私のメッセージとしてしたため、上海孫中山故居記念館に贈りました。本市には世界に誇れる、日中間の溝を埋めてもなお余りある孫文との友情の歴史があり、今後その地域資源を礎とし、絶え間なく交流を継続することが本市の地域振興と新たな歴史の創造につながるものと大きな期待を寄せております。

荒尾市長 前畑淳治